

# 田之筋地区 地域づくり5カ年計画書

## 心豊かに暮らせる 地域づくり



令和5年4月  
田之筋地区地域づくり協議会

## はじめに

ご存知の通り令和5年4月から西予市の公民館は住民自治の活動拠点として一斉に「地域づくり活動センター」へ移行いたします。田之筋地区はそれを先取りし、地域づくり協議会が中心となり令和3年度よりそのモデル地区としてスタート致しました。それは公民館が地域づくり等の一大拠点として変貌したことを意味しています。

令和3年4月には地域任用職員を新たに雇用し、センター長、センター主事、一般事務員、地域任用職員の4人体制となり、人口減少社会に立ち向かうことができる持続可能な住民自治を目指して活動を開始しています。

田之筋地区地域づくり協議会と地域づくり活動センターは連携を密にし、役員会の方針を基に地域の活性化に向けて活発な事業展開を図っています。

センターの4つの機能のうち「地域づくりの場」としては「わらアート事業」が定着し、県内外から多くの観光客が訪れています。また、卯之町駅舎前には、2体のうさぎを展示し、西予市の玄関のシンボルとなっています。

令和4年度からは地産地消を目標に「たまねぎ栽培」を開始しました。16,000本の苗を植え地元住民に安価で提供し、好評を得たところです。

また、「タノスジ・マルシェ」を7月と10月に開催しました。出店はお店や団体に限らず、地域や個人での出店を募り、商品は野菜・果実・花などの農産物をはじめ、加工品・日用品など多種多様な市場となりました。会場には地区内外から多くの方が来店し、大成功のマルシェとなりました。

平成30年に地域づくり協議会が中心となり開設した「田之筋放課後子ども教室」は田之筋小学校児童総数85名の内、63名が参加登録をおこない活況を呈しています。また、令和3年7月からは長期休暇中も子ども教室を開設し、保護者の方々から大変好評を得ています。この事業が新規移住者の呼び水となり、空き家対策等の地域活性化に大いに貢献できるものと確信しています。

今後とも新たな事業にチャレンジし、3年後、10年後の田之筋地区がより住みよい地域となるよう、10年計画を立て、皆で支えあい共に汗をかきながら努力してまいります。

皆様の温かいご支援ご指導を頂きますよう心よりお願い申し上げます。

令和5年4月1日

田之筋地区地域づくり協議会

会長 宮本純夫

## 1. 概況

### ① 現状と問題点

私たちの住んでいる田之筋地区は、明石、新城、常定寺、伊崎、窪、平野、田野中の7集落、及び平成20年に開設された「さくら団地」で形成されています。令和5年2月末現在、人口1,540人、世帯数697世帯、高齢化率約40%となっており、このままで推移すると30年後には「さくら団地」を除く7集落すべてが限界集落に陥ると予想され、いくつかの消滅集落も発生すると思われまます。

50年前には基幹産業である農林業も隆盛を極めていましたが、減反や貿易自由化などの国策の波にのまれ、昨今の不況もあいまって衰退している状況は否めません。このことが若者の地域離れに拍車をかけ、さらに高齢化を進めていたことは言うまでもありません。

しかし、先にもありました「子ども教室」などこれまで地域で様々な事業に取り組んできた結果、田之筋への転入希望者が徐々に増えてきております。ですが、空き家はあるのになかなか居住先が見つからないという、次の問題も出てきております。

### ② 年間行事

田之筋地区では、令和2年度以前は、民主団体連絡協議会主催により、敬老会、盆踊り、地区民運動会、ふるさと芸能・文化祭を4大行事と位置づけ、毎年行っておりました。令和3年度からは、組織の体制が変わり、田之筋地区地域づくり協議会の自治部が中心となって行事の見直しを始め、計画運営などを行っています。

### ③ 歴史

・明治22年(1889年)12月15日町村制・市制施行時に、明石、新城、常定寺、田野中の4箇村の合併により田之筋村になる。

・昭和29年(1954年)3月31日に宇和町他4箇村との合併により、宇和町となる。

・平成16年(2004年)4月1日に宇和町が、明浜町、野村町、城川町、三瓶町と合併し西予市となる。

・平成20年(2008年)「さくら団地」が分譲開始され田之筋地区で8番目の集落となる。

## 2. 資源

### ① 自然景観

大判山、大野山、岩瀬川、せんだんの木、烏殿、松蔭池、庄の川（泉）、大清水、イヌマキ、藤が滝、夫婦岩など

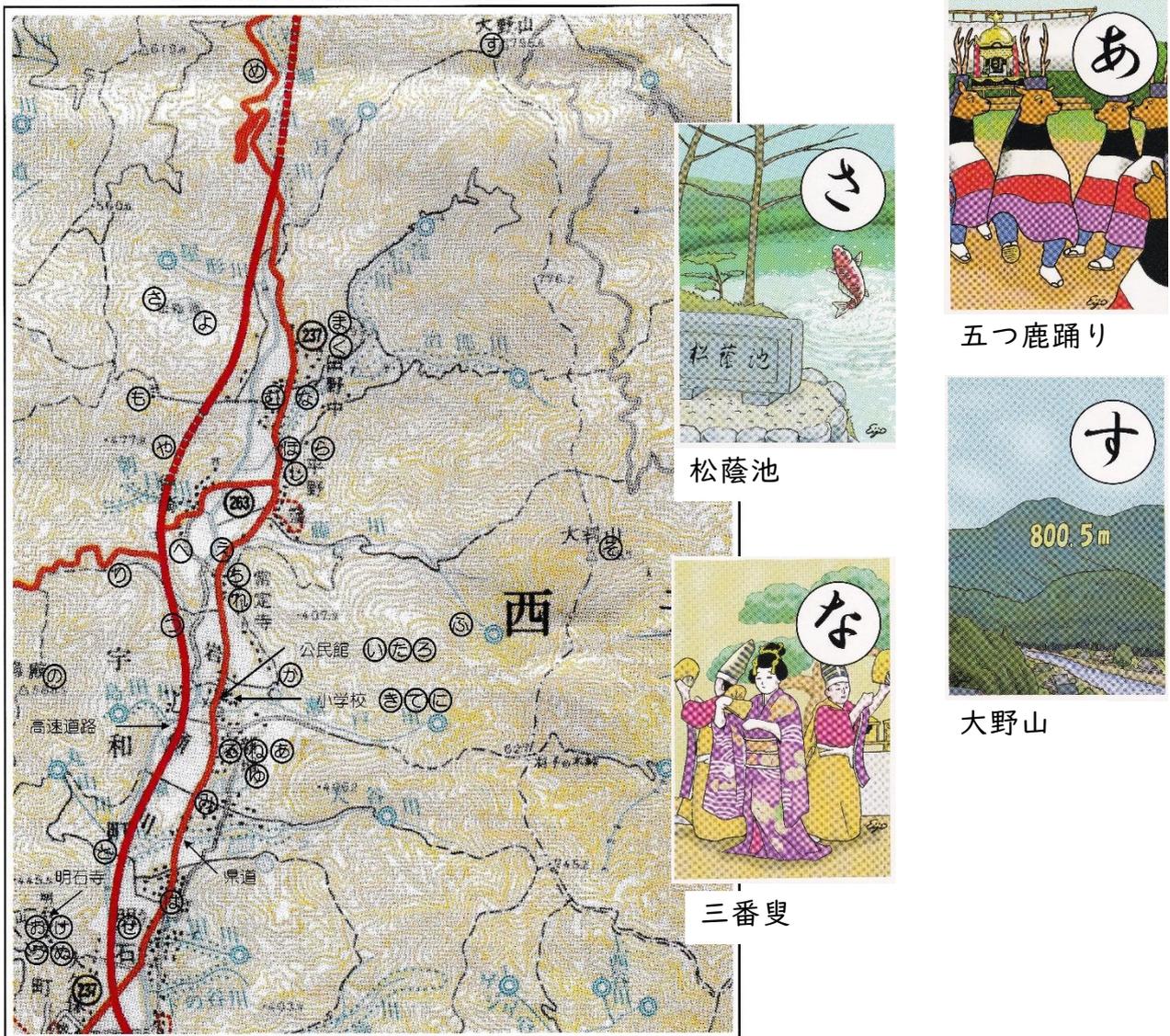
### ② 社寺仏閣・歴史・文化

新田神社、熊野神社、明石寺、中山寺、常定寺、明光寺、念仏講、旧庄屋、阿弥陀堂、松森城跡

### ③ 伝統行事

牛鬼、亥の子、五つ鹿踊り、三番叟、祝歌、

## かるた散策地図



2012年に地元有志「田之筋かるた会」によって製作された「田之筋かるた」より

### 3. 組織・団体

田之筋地区には、地域づくり協議会設立以前から、各種団体などの代表者で構成される田之筋地区民主団体連絡協議会（以下「団体連絡協議会」）があり、地区全体の行事などを協議決定していました。

団体連絡協議会の構成団体（委員）は次のとおりです。

区長会、市議会議員、財産区議員、公民館運営委審議委員、民生児童委員、農業委員、青少年補導委員、学校、PTA、保育園、保育園保護者会、中学校代表支部、緑の少年団、スポーツ振興会、婦人会、老人クラブ、交通安全協会、消防団、田之筋教育会、郵便局、更生保護女性会、社会福祉協議会などです。その他、田之筋地区にはボランティアの会、かるた会など様々な団体があります。

令和5年度からは、「公民館」が「地域づくり活動センター」へと変わることからそれに先駆け、令和3年4月には、田之筋地区にある「民主団体連絡協議会」と「自主防災会」、「地域づくり協議会」3つの組織が1つの「田之筋地区地域づくり協議会」となりました。

### 4. 近年の事業の様子（一部抜粋）



どんど焼き



収穫体験



健康料理教室



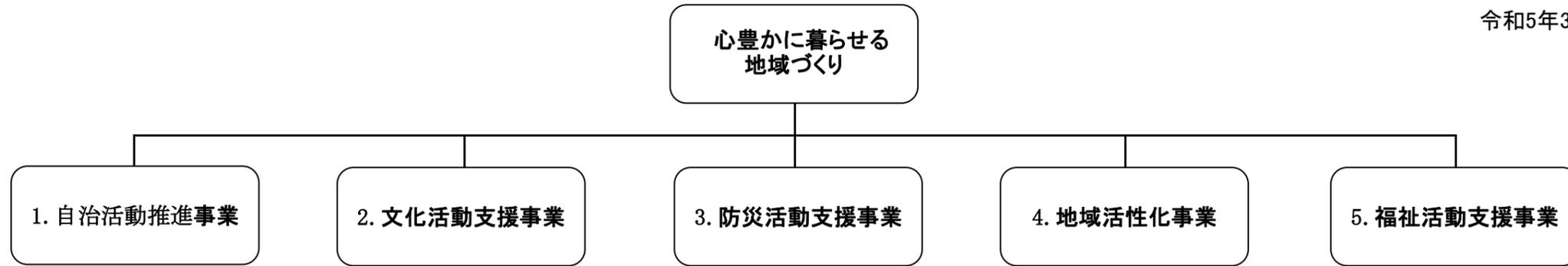
わら編み体験



勉強会



たのすじマルシェ



<p><b>1. 自治活動推進事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①道路環境整備事業 生活道路などの補修に、生コンなどの原材料を支給する。</li> <li>②伝統行事等の維持 伝統行事を維持するために、継続可能な方法を模索し運営していく。</li> </ul>	<p><b>4. 地域活性化事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の特産品開発 田之米(田之筋の米)を利用した新商品開発、製造、販売ルート開拓等。 空き家を利用した新規事業を発掘する。</li> <li>②環境美化 景観美化に努めるため、花いっぱい運動を展開する。</li> <li>③若者の定住化促進 「放課後子ども教室」を側面より支援し、移住の呼び水とする。</li> <li>④空き家の把握と活用 地区内の空き家の調査を行い、情報を集約し、利活用の方法を模索する。</li> <li>⑤地域交流拠点整備 地域内外の多様な人が集まり、経済活動や文化交流、地域づくり活動が行われる場を整備する。</li> </ul>
<p><b>2. 文化活動支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②わらを活用したアート作品製作 大判山を背景に「わらぐる」、「イノシン」の製作から始まり、今では藁で作る干支が地域のスポットとして認知されてきた。技術と活性化を願う思いを継承していく。</li> <li>②文化活動支援 「田之筋カルタ」に出てくる多くの名所旧跡を散策し、保存に努める。 地域づくりに関連する活動を行う各種団体の支援を行う。</li> <li>④イベント支援事業 地域で行われる文化的、地域活性イベントに協働として参画する。</li> </ul>	<p><b>5. 福祉活動支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①健康寿命を延ばす運動 健康寿命を延ばし、平均寿命とのかい離を縮めることを目的とする。</li> <li>②買い物弱者対策 高齢者にとって住みやすく、生活に不便さを感じさせない地域づくり。</li> <li>③子どもの体験活動支援 緑の少年団等が実施する各種体験学習を支援し、「地域の子供は地域で育てる」という意識の醸成を図る。</li> </ul>
<p><b>6. その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①宣伝教育事業 活動内容の周知と連帯感醸成のため、全戸配布のだより発行や、SNSを活用した情報発信を行う。</li> <li>②役員報酬</li> <li>③事務局運営事業</li> </ul>	

田之筋地区地域づくり協議会 計画書Ⅱ（実施時期・形態）

令和5年3月17日

事業計画

大施策	中施策	事業内容	実施時期			実施形態			備考
			短期	中期	長期	住民	集落	協働	
推 自 進 治 事 業 動	①道路環境整備事業	生活道路補修、生コン支給	○				○		
	②伝統行事等の維持	4大行事、どんど焼きの実施	○				○		継続可能な取り組みの模索
支 文 援 化 事 業 動	①わらアート製作	藁を使った技術と郷土への思い継承	○			○			次世代の作りて探し
	②文化活動支援	名所旧跡の散策・保存及び各種団体支援	○					○	田之筋かるたの活用
	③イベント支援	地域で行われるイベントへの協働	○					○	協働としての参画
動 防 事 支 援 活	①自主防災組織の活動支援	避難訓練・学習会・防災キャンプ等	○					○	
	②防災機器等の整備	災害対策備品の整備	○			○			
地 域 活 性 化 事 業	①地域の特産品開発	田之米を利用した新商品の開発		○		○			田之筋らしさ、魅力の発信
	②環境美化	花植えによる景観美化		○			○		各地区と連携した取り組み
	③若者の定住化促進事業	子ども教室を側面より支援、移住の呼び水とする			○			○	子育て支援の充実・アピール
	④空き家の把握と活用	空き家の調査、情報集約、活用方法の模索			○		○		
	⑤地域交流拠点整備	人が集まり、経済活動や文化交流の場を整備する。			○	○			多様性のある開けた場づくり
支 福 援 社 事 業 動	①健康寿命を延ばす運動	平均寿命とのかい離幅を縮める			○	○			
	②買い物弱者対策	住みやすく不便さを感じさせない地域づくり		○				○	ニーズの把握
	③子どもの体験活動支援	各種体験学習等を支援	○					○	地域の子供は地域で育てるという意識の醸成
そ の 他	①宣伝教育事業	活動内容の周知・地域づくりへの参加促進	○			○			SNSの活用
	②役員報酬		○			○			
	③事務局運営事業		○			○			



# 新 組 織 図

令和5年3月17日

<b>田之筋地区地域づくり協議会</b>	
会長	1
副会長	1
監事	2

